

海洋プラスチックごみ削減への協力をお願い

近年、海に流れ出るプラスチックごみは後を絶たず、生態系を含む海の環境悪化や漁業者への影響が大きな問題となっています。

令和元年12月に「くまもと海洋プラスチックごみ『ゼロ』推進会議」が立ち上げられ、海洋プラスチック「ゼロ」に向けた取り組みが示されましたので、抜粋してご紹介します。

●海洋ごみの状況(プラスチック)

世界の海で合計1億5,000万t、年間800万tが新たに流入(推計)

●どのように海に流れ出るか

陸地でポイ捨てされたごみが、雨や風で流され、側溝・水路・河川を経て、海へと流れ出てしまいます。(レジ袋やペットボトルなど)

●熊本県では…

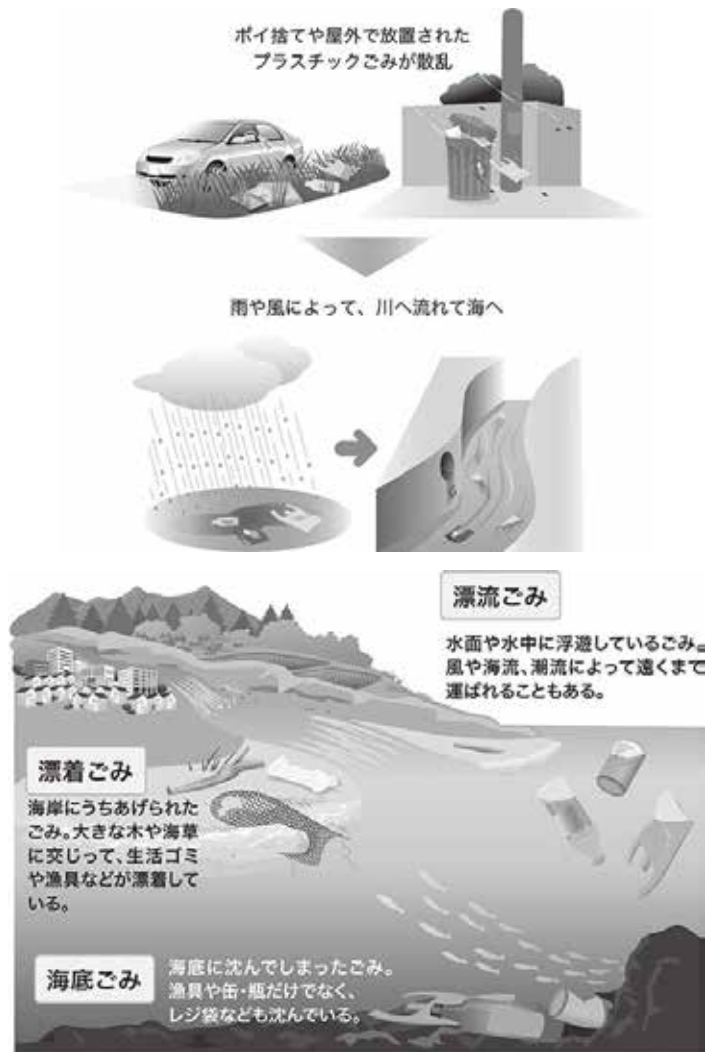
宇土市、宇城市、上天草市で調査が行われ、海岸にペットボトルや農業用ビニールなどが漂着していることが確認されています。

●海洋ごみによる被害(熊本県内)

海苔の養殖への被害(異物混入)、漁船の漁業網や船のスクリューに絡まる等、経済面や安全面での被害が生じています。

マイクロプラスチック問題

プラスチックのごみが、紫外線や波の影響で劣化と破碎を重ねながら微細片となったもの。食物連鎖中に取り込まれることで、化学物質による生態系への影響などが懸念されています。



上流域で暮らす私たちにできること

- 近隣の清掃(梅雨時期前や台風が来る前に!ごみが水路や側溝に入る前に!)
- 流出・飛散しやすいモノがないかの点検・対策



豆知識

～身近なプラスチック製品～

- ティーバッグ
- タバコの吸殻/フィルター
- 不織布のマスク
- 紙おむつ
- 使い捨てコンタクトレンズ
- (原料) ナイロン、ポリプロピレンなどの化学繊維

〈問い合わせ〉環境対策課 環境保全係 TEL(67) 3176